News of The Japanese Weekend School of New York

BIG APPLE

ニューヨーク補習授業校
56 Harrison St. Suite204
NewRochelle, NY 10801
Tel:(914)636-3770
Fax:(914)636-7476
平成26年7月11日　No.8
発行責任者：校長　櫻井郁男

素敵な夏季休業を

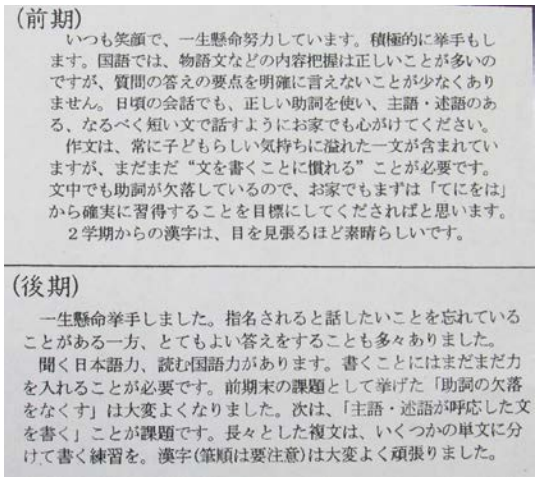
今年度、おしらせ(通知表)の改定をいたしました。

このことにより、先生方は休業中に皆さんの学習評価に関する資料を例年にもまして精査しています。

派遣教員が確認するのは主に所見です。担任からの励ましや課題の提示、そして課題を克服するためのアドバイスを確認しつつ、先生方がどのような願いをもって、一人一人のお子さんと接しているか、理解を深めております。

昨年度末、右の「おしらせ」が、目に留まりました。

児童への励ましのメッセージとともに、最も大切な国語の学習について、学習上の課題を明示しています。そして夏休み明けの様子について大いに賞賛し、さらに後期の所見では、前期に示した課題について克服したことを「大変良くなりました」と認め、今後成長するためにと、新たな課題を提示しています。まさしく学習評価であり、指導と評価の一体化を図っている事例です。



(前期)

いつも笑顔で、一生懸命努力しています。積極的に挙手もします。国語では、物語文などの内容把握は正しいことが多いのですが、質問の答えの要点を明確に言えないことが少なくありません。日頃の会話でも、正しい助詞を使い、主語・述語のある、なるべく短い文で話すようにお家でも心がけてください。

作文は、常に子どもらしい気持ちに溢れた一文が含まれていますが、まだまだ“文を書くことに慣れる”ことが必要です。文中でも助詞が欠落しているので、お家でもまずは「てにをは」から確実に習得することを目標にしてくだされればと思います。

2学期からの漢字は、目を見張るほど素晴らしいです。

(後期)

一生懸命挙手しました。指名されると話したいことを忘れていることがある一方、とてもよい答えをすることも多々ありました。

聞く日本語力、読む国語力があります。書くことにはまだまだ力を入れることが必要です。前期末の課題として挙げた「助詞の欠落をなくす」は大変よくなりました。次は、「主語・述語が呼応した文を書く」ことが課題です。長々とした複文は、いくつかの単文に分けて書く練習を。漢字(筆順は要注意)は大変よく頑張りました。

参考にさせてくださった、児童・ご家庭と担任に感謝いたします。

夏休みならではの・・・・体験を

補習校でも夏休みが始まります。

夏休みは日々の生活の場が学校中心から自分の家庭やお友達の住む地域となります。また、毎日の生活スタイルを自分で決めることのできる期間です。ですからお子さん自身が立てた計画を実行することによって、有意義な夏休みにもなるし、何となく過ぎてしまうことにもなります。強い意志を持って、思い出に残る日々にしてほしいものです。



わたしの思い出・・・数学の宿題100問に取り組んだことが最大の思い出です。

まず正の数・負の数の、かけ算わり算が理解できませんでした。さらに、数直線の考え方に慣れるのに、だいぶ時間がかかりました。

最大の難関は1次方程式でした。Xの値を求めることは「虫食い算」と同じだと考えていました。□の中に適当な値を入れれば答えられるので、「簡単だな」と考えていました。でも、ちょっと複雑になってくると、頭で考えて答えを入れることができなくなりました。そして、式を整理するときの「2X＋3Xが5X」になることが2□＋3□＝5□と考えてしまい、どうしても納得がいきませんでした。

「何で？！」と姉に聞いても「**ああそうか！**」という考え方にたどり着かず「ワンワン」泣きました。そして、**ひとつの式の中でXは同じ値なのだという約束事**を知ると問題はおもしろいように解けました。「算数・数学は納得の教科」だと思います。